

市長メッセージ

～ 垂水市民の皆様・縁のある皆様へ～

6月19日の議会に於いて、垂水市新庁舎建設事業費が可決されました。市議会の御提案によりスタートし、その後、熊本地震発生以降本格的議論を深め今回の判断となりました。

①基本構想、②基本計画 ③実施設計の手順で、築60年の古くて危ない現庁舎の建て替えの議決を頂きました。Ⓐ安全面…垂水市初の柱頭免震(大臣認定)で対応します。Ⓑ財政面…約18億円の基金と低利率で約7億3千万円交付税措置される地方債等最大限活用します。ⒶⒷ心配なく対応出来る現計画を跡地利用とあわせて進める事が重要と考えております。 垂水市長 尾脇雅弥



速報

新庁舎を建てる



新庁舎建設工事費等が**可決**

建設工事費総額は、**「37億2496万4千円」**(外構工事費含む)

令和2年第2回市議会定例会において、新庁舎建設にかかる建設工事関連予算が6月19日、最終本会議で可決されました。今回予算は、本年度の建設工事を進めるための建設工事関連予算となります。

定例会では、一般質問で議員が建設工事費の内容や予算案上程の妥当性、将来の財政見通しなどを質問し、答弁が行われました。また、詳細な審議が行われる委員会では、事業費算出の妥当性や財政の見通し

などについて質疑があり、建設工事費をゼロとした修正案が可決されたが、最終本会議では、修正案が否決され、原案が可決されました。

Point

建設工事総額(令和2～4年)

37億2,496万4千円のうち

本年度関連予算

16億6,073万3千円が可決

※工事請負費、用地購入費など